

計画どおり事業を進行

東金市と九十九里町で進めております地域医療センターは、平成22年10月に「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター」を設立して事業を進めてきました。

事業初年度である平成22年度の事業実績などを評価する評価委員会が開かれ、計画どおりに事業が進んでいると評価されました。また、平成22年度の財務諸表（貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書など）も審査され、妥当であると承認されました。

医療センターNEWS 発行に寄せて

東日本大震災から半年が過ぎました。被災されました方々へあらためて心よりお見舞い申し上げます。

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センターは東金市と九十九里町が設立し、平成26年4月開院を目指して準備を進めております。

本医療センターは新規設立の地方独立行政法人による病院の立ち上げという全国でも前例のない取り組みであり、多くの課題などが予想されますが、地域住民の方々に信頼され、災害にも強く高度で安全な医療を行う医療センターを開設すべく努力してまいります。

「地域医療センターNEWS」は、本号から法人が発行し、情報を発信してまいりますので今後ともよろしく願います。

平成23年10月

地方独立行政法人
東金九十九里地域医療センター
理事長 千葉大学名誉教授

平澤 博之



—外観イメージ図—

どんな事業を行ったの？

—平成22年度事業の概要—

病院建設予定地を取得

東金市より資金を借入れて、平成23年3月29日に建設予定地（東金市丘山台三丁目6番2ほか8,059㎡）を取得しました。

千葉大学との協定締結

医師確保の柱となる「千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センター」の設置について千葉大学と東金九十九里地域医療センターとの間で協定書を締結しました。臨床教育センターのしくみは裏面のとおりです。

基本設計まとまる

東金市と九十九里町が進めた病院の基本設計業務にあたり、千葉大学医学部・同附属病院の協力のもと、医療機能を十分発揮できるよう内容を

精査検討し、基本設計がまとまりました。

現在、実施設計（建設工事に必要な詳細な設計作業）を行っています。東日本大震災を踏まえ、災害により強い病院となるよう細部の検討を進めています。

今後、建築確認申請などの手続きを行い、年内に設計を完了する予定です。

看護師確保のための 奨学金制度の創設

看護師を安定的に確保するため、「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター看護師養成機関学生奨学金支給規程」を制定し、看護師確保の制度を整えました。

平成26年4月の開院を目指して看護師募集を開始しています。くわしくは裏面をご覧ください。

TOPICS

当医療センターがさらに充実 国の交付金を活用して 4.65億円のさらなる支援

千葉県からの東金九十九里地域医療センター事業に対する支援総額85億6,000万円のほかに、国の交付金を活用した「千葉県地域医療再生プログラム」により、平成23年度から平成25年度までの3カ年にわたり4億6,500万円が交付され、医療センターがさらに充実します。

支援が予定される事業は次のとおりです。

◆救命救急センターの充実に

救命救急センターのICUベッドや医療機器などの整備に充てられます。

◆救急医療従事者の確保に

- ・救急の指導的立場となる看護師を開院前から採用・育成し、水準の高い看護実践ができる認定看護師の育成に充てられます。
- ・救命救急センターに配属する予定の看護師を開院前から採用し、県内の救命救急センターで研修する費用に充てられます。

◆ドクターヘリの活用支援に

ドクターヘリを活用し、重篤救急患者の受け入れの円滑化・短時間化を図るため、ヘリポートの設置に充てられます。

看護師募集

現在、当医療センターで勤務する看護師(平成24年4月採用)を募集しています。開院までは千葉県内の病院で研修します。

●応募資格

平成24年3月卒業見込みで、看護師免許取得見込みの方。または、すでに免許を取得している方。くわしくはお問い合わせください。

●奨学金制度について

看護学生さんへ奨学金制度を用意しています。奨学金は月額7万円です。医療センター開院後、奨学金の受給期間と同期間以上、当医療センターに勤務することで返済が免除されます。他の奨学金制度と併用可能です。くわしくはお問い合わせください。

●「認定看護師」資格取得を支援します

認定看護師(下記対象分野)の資格を取得し、当医療センターで働いていただける方に、認定看護師教育機関修学に必要な入学科・授業料・研修期間中の雑費など(1人あたり平均約300万円)を支給します。医療センター開院後3年以上勤務することが必要です。くわしくはお問い合わせください。

対象分野▶救急看護／小児救急看護／集中ケア／糖尿病看護

●問い合わせ先

地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 看護部
Tel:0475-50-1253 Fax:0475-50-1299
E-Mail:info@tkmedical.jp

心のこもった質の高い看護を提供します

当医療センターは地方独立行政法人として新しく設立された病院です。伝統や実績がない分、スタッフとともに新たな文化を築きながら作り上げていく病院です。救命救急センターを併設し、開院初年度(平成26年度)はICU・HCUを含めた146床でスタートします。3年かけて314床がオープン、看護師総数はおよそ300名となります。

高度で安全な医療を提供し、地域の皆さんから信頼される病院を一緒につくっていきませんか。



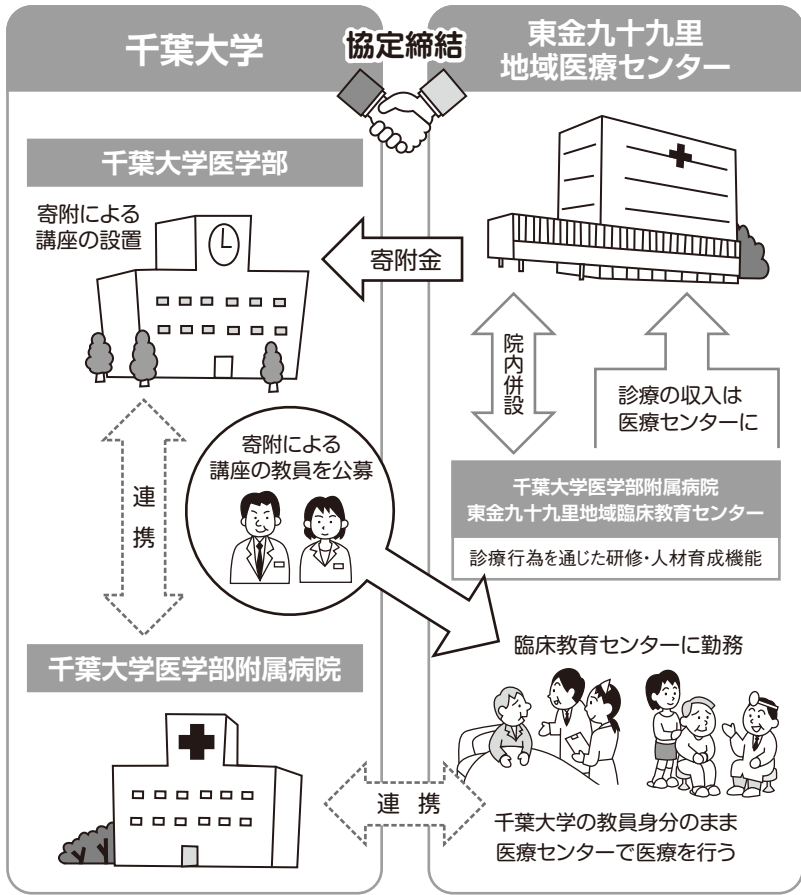
看護部長 石原 照子

臨床教育センターのしくみは?

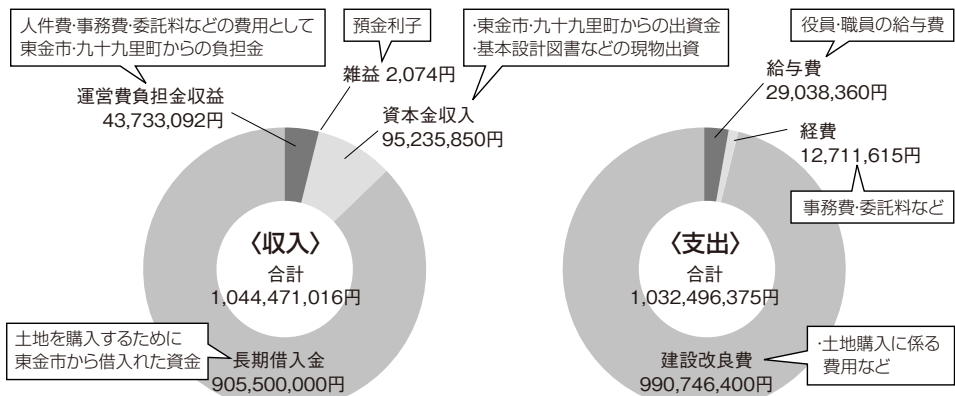
千葉大学医学部附属病院東金九十九里地域臨床教育センター(以下「臨床教育センター」)のしくみは、これまでの県内の医療機関に対する千葉大学からの医師派遣システムとは異なるもので、病院全体でこのようなシステムを取り入れるのは全国でも先駆的な取り組みとなります。

東金九十九里地域医療センター(以下「医療センター」)側は、千葉大学医学部・同附属病院と密接な連携のもと、医療センターにおける人材確保に関する不安を無くし、かつ優秀でモチベーションの高い人材を確保できるようになります。そのおおまかなしくみは、次のようなものです。

- ◆医療センターのなかに臨床教育センターを置き、千葉大学の教員が医療センターでの診療活動を通じて、医学部附属病院の研修医・医学部学生等の指導・教育を行います。
- ◆千葉大学医学部は、寄附による講座の教員を公募し、一定の資格を有する教員(教授、准教授、講師等)を採用し、臨床教育センターに配属します。
- ◆医療センターは臨床教育センターに勤務する教員の人件費及び寄附による講座の運営経費などの資金を提供します。
- ◆医療センターのなかで臨床教育センターの教員(医師)が診療活動を行うことにより得る診療報酬は、すべて医療センターの収入となります。



平成22年度(10/1～3/31) 収入と支出の状況



平成22年度から平成25年度までは、病院の開院準備期間ですので医業収益は発生しません。収入の主なものは、土地を取得するために東金市から借入れた9億5500万円で収入の87%を占めています。

支出の主なものは建設改良費の土地購入に係る費用や基本設計に係る費用で、支出の96%を占めています。経費のうち委託業務の内容は次のとおりです。

- ・法人を運営していくための人事労務管理制度や財務会計制度を構築するための委託
- ・病院開院に向けた準備業務で、運営システム・情報システム・物流管理システムなどを構築するための委託

地方独立行政法人 東金九十九里地域医療センターの役員

役職	(担当)	氏名	役職等
理事長		平澤 博之	千葉大学名誉教授
理事	(看護)	石原 照子	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 看護部長
理事	(総務)	原田 修	地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター 事務部長
理事(非常勤)	(法務)	篠崎 純	弁護士
理事(非常勤)	(教育)	横須賀 収	千葉大学大学院医学研究院 教授
理事(非常勤)	(医療)	大川 昌権	睦沢診療所 院長
監事	(監査)	白土 英成	公認会計士

(平成23年4月1日現在)